

第5回 執権政治と蒙古襲来

§1 執権政治

源頼朝の死後、将軍の権力を制限して有力な御家人の合議による政治がおこなわれるようになった。その中心が源頼朝の妻政子と父北条時政であった。北条氏は、将軍の補佐役である執権の地位を独占し、幕府の実権を握るようになった。この北条氏による政治を執権政治とよぶ。

三代将軍実朝が暗殺され源氏の将軍が三代で途絶えた後、政治の実権を朝廷に取り戻そうとした後鳥羽上皇が1221年挙兵した（承久の乱）。しかし、幕府の大軍に破れ、挙兵は失敗に終わった。承久の乱のあと、鎌倉幕府は、京都に六波羅探題を置くなど、全国に支配を広げ、1232年には武士の慣習や道徳に基づいた法律として御成敗式目が定められた。

§2 蒙古襲来（元寇）

13世紀後半、モンゴル帝国の皇帝フビライは国号を元とあらため、日本を服属させようと何度も使者を送った。しかし、執権北条時宗はそれを無視したため、元による日本侵攻がおこなわれた。二度にわたる元の日本侵攻を蒙古襲来（元寇）とよぶ。

1274年、元は支配下の高麗軍とともに壱岐・対馬に侵攻し、九州北部の博多湾に上陸した。元軍の集団戦法やてつはうなどの武器に御家人たちは苦戦したが、激しい戦いのすえに元軍を退けた（文永の役）。1281年には二度目の侵攻がおこなわれたが、博多湾に築かれた石塁と大量に動員された御家人の抵抗によって撃退された（弘安の役）。二度にわたる戦いの中での御家人の奮闘や、その後の恩賞を求めて獲得するまでの苦労を描いた絵巻物『蒙古襲来絵巻』は大変有名である。

その後、幕府は三度目の侵攻を警戒して九州の警護を強化するなど西日本における支配力を強化したが、恩賞をめぐる御家人の不満は高まった。

第5回 執権政治と蒙古襲来

§1 執権政治

源頼朝の死後、将軍の権力を制限して有力な御家人の合議による政治がおこなわれるようになった。その中心が源頼朝の妻政子と父北条時政であった。北条氏は、将軍の補佐役である執権の地位を独占し、幕府の実権を握るようになった。この北条氏による政治を執権政治とよぶ。

三代将軍実朝が暗殺され源氏の将軍が三代で途絶えた後、政治の実権を朝廷に取り戻そうとした後鳥羽上皇が1221年挙兵した(承久の乱)。しかし、幕府の大軍に破れ、挙兵は失敗に終わった。承久の乱のあと、鎌倉幕府は、京都に六波羅探題を置くなど、全国に支配を広げ、1232年には武士の慣習や道徳に基づいた法律として御成敗式目が定められた。

§2 蒙古襲来(元寇)

13世紀後半、モンゴル帝国の皇帝フビライは国号を元とあらため、日本を服属させようと何度も使者を送った。しかし、執権北条時宗はそれを無視したため、元による日本侵攻がおこなわれた。二度にわたる元の日本侵攻を蒙古襲来(元寇)とよぶ。

1274年、元は支配下の高麗軍とともに壱岐・対馬に侵攻し、九州北部の博多湾に上陸した。元軍の集団戦法やてつはうなどの武器に御家人たちは苦戦したが、激しい戦いのすえに元軍を退けた(文永の役)。1281年には二度目の侵攻がおこなわれたが、博多湾に築かれた石塁と大量に動員された御家人の抵抗によって撃退された(弘安の役)。二度にわたる戦いの中での御家人の奮闘や、その後の恩賞を求めて獲得するまでの苦勞を描いた絵巻物『蒙古襲来絵巻』は大変有名である。

その後、幕府は二度目の侵攻を警戒して九州の警護を強化するなど西日本における支配力を強化したが、恩賞をめぐる御家人の不満は高まった。

Part 5: Stewardship Politics and the Mongolian Invasion

§ 1 Politics of regency system

After the death of Minamoto no Yoritomo, the power of the shogun was restricted, and the government was formed by a council of influential Gokenin. At the center of this system were Minamoto no Yoritomo's wife, Masako, and her father, Hojo Tokimasa. The Hojo monopolized the regent's position as the shogun's assistant, and came to hold real power in the shogunate. This political system under the Hojo clan is called **the regency system(執権政治 “Shikken Seiji”)**.

Minamoto no Sanetomo was assassinated, thus ending three generations of Minamoto shoguns. After that Emperor Go-Toba raised an army in 1221 (**承久の乱 Jokyu Rebellion**) in an attempt to return political power to the Imperial Court. However, he was defeated by a large army of the Shogunate, and his attempt to raise an army ended in failure. After the Jokyu Rebellion, the Kamakura shogunate extended its rule over the whole country, including the establishment of **the Rokuhara governor(六波羅探題 “Rokuhara Tandai”)** in Kyoto, and in 1232, the “Goseibai Shikimoku(御成敗式目)” was established as a law based on the customs and morals of the samurai.

§ 2 Mongolian Invasion (Genko)

In the latter half of the 13th century, the Mongol emperor Fubirai changed his country's name to **Yuan 元** and sent numerous envoys to Japan in an attempt to subjugate it. However, the regent Hojo Tokimune ignored the message, resulting in the invasion of Japan by the Yuan. The two invasions of Japan by the Yuan are called **the Mongol invasions(蒙古襲来” Moko Syurai”) (元寇 “Genko”)**.

In 1274, the Yuan invaded Iki and Tsushima with the Koryo forces under their control and landed at Hakata Bay in northern Kyushu. The Gokenins fought hard against the Yuan army's group tactics and weapons such as **てつはう “tetsuhau”**, but after a fierce battle, they defeated the Yuan forces (**文永の役” Bun'ei no eki”**). A second invasion took place in 1281, but was repulsed by the stone fortifications built on Hakata Bay and the resistance of a large number of mobilized Gokenins (**弘安の役” Kouan-no-yaku”**). The picture scroll **"Mohko-shuurai Emaki (Picture Scroll of the Mongolian Invasion)"** is very famous for its depiction of the

struggle of the Gokenins during the two battles and their subsequent efforts to seek and win a bounty.

Later, the Shogunate strengthened its control over western Japan by reinforcing the security of Kyushu in anticipation of a third invasion, but the dissatisfaction of the Gokenin over the bounty grew.

第 5 回 执权政治与蒙古入侵

§ 1 执权政治

源赖朝死后，幕府将军的权力被限制在由有权势的御家人所组成的协商而定的政治会议当中。其核心是源赖朝的妻子政子和她的父亲北条时政。北条氏垄断了作为辅佐幕府将军的执权官的地位，从而掌控了幕府的实权。这个由北条氏主导的政治被称为执权政治（執権政治）。

在第三位幕府将军实朝遭到暗杀，以源氏为将军的统治历经三代遭到断绝后，试图将政治实权复归朝廷的后鸟羽上皇于 1221 年举兵起事（承久之乱）。然而，却遭到幕府大军击败，起事以失败告终。承久之乱后，镰仓幕府在京都设立六波罗探题（六波羅探題）（官职），将其统治扩展到全国，又于 1232 年在武士习俗和道德的基础上制定了名为《御成敗式目》的法律。

§ 2 蒙古入侵（元寇）

13 世纪后期，蒙古国大汗忽必烈改国号为元，并多次派遣使者试图使日本臣服（于元朝）。然而，由于执权官北条时宗的无视，元朝遂举兵入侵日本。元朝对日本的两次入侵被称为蒙古袭来（元寇）（中国史称元日战争）。

1274 年，元朝与其控制下的高丽军队入侵壹岐、对马，并在九州北部的博多湾登陆。元军的集体战法和震天雷（铁炮）等武器使御家人陷入苦战，但经过激烈的战斗，（御家人）经过一番激战，他们迫使元军撤退（文永之役）。1281 年元军二次举兵来袭，但由于在博多湾修筑的石头防御工事和大量被动员起来的御家人的抵抗，元军被再次击退（弘安之役）。长卷画册（绘卷）《蒙古袭来绘词（蒙古襲来絵詞）》因其描绘了两次战役中御家人的英勇奋战，以及之后为寻求获得赏赐的艰苦过程而举世闻名。

这之后，幕府为防止（元朝）的第三次入侵，通过强化对九州的警备等手段，加强了对西日本的控制，另一方面御家人对赏赐的不满情绪却越来越强烈。